

2019 防災グローバルプラットフォーム(2019 Global Platform for Disaster Risk Reduction)に参加しました(2019/5/13-17)

テーマ：防災、仙台防災枠組、マルチステークホルダー、国際連携、災害統計グローバルセンター
場所：スイス ジュネーブ

2019年5月13-17日に、スイス・ジュネーブで開催された防災グローバルプラットフォームに、今村文彦所長（災害リスク研究部門）、泉貴子准教授（地域・都市再生研究部門）、小野裕一教授、佐々木大輔助教、高阪加奈代研究員（情報管理・社会連携部門）が参加しました。防災グローバルプラットフォームは国連防災事務所（UNDRR）とホスト国政府の主催により、2年ごとに開催されています。今年は182か国から参加がありました。

5月13日には、仙台市とともにUNDRRのDirector Kirsi Madiを表敬訪問し、併せてSendai Framework Voluntary Commitments や世界防災フォーラムの取り組み等について意見交換を行いました。また、「仙台防災枠組実現のための科学・政策フォーラム」が国連ジュネーブ本部で開催され、新しく発刊されたジャーナル「Progress in Disaster Science」に関するセッションにて、泉准教授がジャーナル紹介の発表を行いました。このセッションには、国連事務総長特別代表（防災担当）の水鳥真美氏もパネリストとして参加され、このジャーナルへの仙台防災枠組実現と政策への貢献について期待を述べられました。

5月14日には、アジア防災センターが開催する世界災害共通番号 GLIDE（GLobal unique disaster IDentifier）の関係者会議に出席し、災害統計グローバルセンターの取り組み等について発表を行いました。

5月15日には、防災プラットフォームの中の「イノベーションプラットフォーム」というプログラムの中で、APRU マルチハザードプログラムと当研究所が「イノベーションと防災」と題したセッションを主催し、国連大学、慶応大学、東京大学からパネリストが参加しました。予想をはるかに上回る100名ほどが参加し、立ち見の方々もいらっしやっただ中で活発な議論が行われました。今村所長からは「Low frequency and high-impact multi-disaster, and new ideas for DRR innovations in the future」と題して、仙台防災枠組の優先行動に沿った東日本大震災の復興過程において、どのような防災イノベーションが採用されたのかについて紹介がありました。泉准教授は、3月にAPRU マルチハザードプログラム、当研究所、慶応大学、東京大学、国連大学、CWS ジャパンが協力して発刊した「30 Innovations for Disaster Risk Reduction」を紹介し、30の防災イノベーションに関して行った調査結果を発表しました。会場からは様々なコメントや提案をいただき、中でも、特に「ジェンダー」と「ヘルス」といった視点からみた「イノベーション」を、次号ではぜひ取り上げてほしいとの強い要望がありました。また、防災イノベーションは高価で特別な技術や知識が必要との認識があるが、どのように克服し、ローカルレベルに浸透させるべきかとの質問もありました。それこそが「30 Innovations for Disaster Risk Reduction」発刊の目的であり、このように誰でもアクセスできる資料により、防災イノベーションに関する知識を高め、各地域や国々に最適のイノベーションが選択できるように活用してもらうこと、また、大学とその他のステークホルダーグループが連携することによって、イノベーションの拡張が期待されるとの見解が示されました。

5月17日には、当研究所の公式声明（official statement）を会場で読み上げることで、当研究所のこれまでの実績等を世界に向けて広く発信しました。

<https://www.unisdr.org/files/globalplatform/Flmamura.docx>

文責：今村文彦（災害リスク研究部門）、泉貴子（地域・都市再生研究部門）、
小野裕一教授、佐々木大輔助教（情報管理・社会連携部門）

（次頁へつづく）



新しいジャーナル発刊セッション



泉准教授の発表



30 innovations for DRR セッション
 発表・パネリスト



30 innovations for DRR
 セッション会場の様子



今村所長発表の様子



泉准教授発表の様子



Director Kirsi Madi を表敬訪問



当研究所の公式声明